

# 母親向けお天気教室「さいえんすママカフェ」活動報告

有志活動団体・サニーエンジェルズ（発表者 山本 由佳）

## 1. はじめに

日本気象予報士会は発足以来、気象知識普及のため、個人あるいは支部・団体として学校等への出前授業や社会人向けの気象講座を多く実施してきた。ところが、本会のみならず他の気象関連組織においても、母親を対象にしたお天気教室というものは行われていない。

そこで、気象予報士でありながら母親・女性であるという特徴を最大限に活かし、母親の科学リテラシー向上に貢献することを目的として、2010年2月に有志活動団体・サニーエンジェルズは発足した。2011年12月現在、全国から75名（男性36人、女性39人）の会員が参加している。

本稿では母親を対象としたお天気教室「さいえんすママカフェ」の活動報告とその成果について報告する。

## 2. さいえんすママカフェとは

母親達に楽しい科学体験を提供し、自然科学への興味を喚起することを主目的としたお天気教室である。

「女性気象予報士が、母親達にとって身近な科学である気象をきっかけに、科学知識やその面白さを伝えていけば、母親達に受け入れられやすいのではないか？」という発想が原点である。そして次世代を担う子ども達に大きな影響を持つ母親達に働きかけることは、未来の地球環境のためにも有益であると考えた。

また、未就園児を持つ母親に関しては孤立育児・密室育児といったことが問題視されて久しい [1]。さいえんすママカフェは、母親達のストレス発散や情報交換の場を提供して育児の健全化を図ることも目的としている。

家事・育児等で忙しく、科学イベントへの参加に抵抗感が大きい母親達の参加を促すため、本活動は以下の工夫を行っている。

- ① 茶菓の提供、景品付きクイズやゲームの実施
- ② 安価な参加費
- ③ 子ども同伴可（託児は引き受けない）

講義内容も、科学の面白さを共有することに重きを置き、可能な限り平易で、かつ科学的に正しく説明することを目指している。依頼主は学校・幼稚園等のPTA、育児サークル、公的機関の育児支援担当等が多く、要望は多岐にわたるが柔軟に対応している。

## 3. 実施内容

子ども同伴可としているため、プログラム実施時間は60分から90分以内としている。以下に実施プログラムの例を示す。

- ① お天気クイズ  
アイスブレイクとして身近なお天気の不思議をクイズ形式にして分かりやすく解説する。
- ② 雲を作る実験  
ペットボトルとフィズキーパーを用いる方法と、自宅で再現してもらうことを考慮しペットボトルのみで作る方法の2種行っている。わかりやすく実験方法を書いたカードも作成し配布している。
- ③ 減圧容器を使った実験  
減圧容器内にマシュマロや穴を開けたコーヒー缶等を入れて減圧し、気圧による変化を楽しむ。
- ④ 強風作りゲーム  
参加者に風速計に向かって団扇で風を起こしてもらい、計測された風速を競う。
- ⑤ オリジナル紙芝居「サニーちゃんとかみなり」  
会員で意見を出し合い制作した絵本の紙芝居版を実演する。かわいらしく親しみやすいデザインでありながら、雷の成り立ちを科学的に解説していることが特徴である。今後、気象現象をモチーフとした続編を制作予定である。
- ⑥ 防災知識の提供  
私達の活動は「命を守る」立場にある母親に直接防災知識を提供できる好機でもある。正しい防災知識を分かりやすく提供すると同時に、有用な気象防災情報の紹介にも力を入れている。
- ⑦ アンケート記入・質疑応答  
母親達が生活上役立つと感じる知識や情報を提供できるよう、アンケートを行う。  
なお、ゲームや実験等に母親が参加する際には、女性スタッフが子どもの様子を気遣うなど補助を行う。  
スタッフは2~4名で担当し、プログラムの各コーナーを分担して説明する。経験の浅いスタッフはまずオブザーバーとして参加し、説明内容を十分把握してから主説明者となるように技術育成面も配慮している。



写真1 赤ちゃんも一緒に参加



図1 オリジナル紙芝居

#### 4. 活動実績

サニーエンジェルスは2010年度には18回、2011年度には約20回(イベント参加も含む)の活動を行った。参加者は900人以上(イベント参加者を除く)に上る。東京・神奈川周辺を中心に活動展開してきたが、2010年度は長野県、2011年度は埼玉県や静岡県、佐賀県とさらに活動範囲を広げている。

新聞、ラジオ、TV等のメディア出演はこれまでに18件に上る。視聴者の反響も好評で、来年度の依頼及び問い合わせの増加につながっている。



写真2 さいえんすママカフェ in 佐賀

#### 5. アンケート結果及び考察

アンケート結果のうち2010年度及び2011年度に集計した満足度の調査結果を表1に示す。両年度共に、約93%の参加者から大変満足・満足の評価をいただいた。また「さいえんすママカフェに参加して自然や科学・技術に興味が高まったか」に関する調査結果を表2に示す。【少し興味をもった・更に興味をもった】と回答した参加者は94%に達しており、さいえんすママカフェの主目的は達成されていると考える。

また参加者の傾向調査を目的とした、「参加者の理科・算数の好き嫌い」に関する調査結果を表3に示す。表3より、【とても好き・好き】と回答した参加者は、理科では66.7%、算数では54.6%を占め、傾向としては比較的理系の参加者が多いようである。これは、さいえんすママカフェがお天気を中心とした科学講座であるため、元来理科が好きな人達の興味を惹いた結果と考えられる。しかし、【嫌い・とても嫌い】と回答した参加者も理科では6.2%、算数では18.4%を占めており、このような参加者からも高い満足度を得られたことが分かった。

文部科学省が報告する生徒の学習到達度調査(PISA2006)によると、日本の子供は深刻な科学離れを引き起こしていると考えられる[2]。そして残念ながら我が国では、関心の低い子どもがそのまま大人になり、関心の低い大人の影響で子どもの関心が低下するという無関心の再生産構造を構築している可能性がある[3]。一方で、国際的な競争力を高めるためには、科学技術を発展させる必要があると考えている人が多い[4]。

さいえんすママカフェでは、もともとの理科・算数の好き嫌いに関わらず9割以上の参加者に高い満足度の評価を受け、さらに自然科学に対する興味を高めている。社会的な科学離れに歯止めをかける上でも私達の活動は大きな意義があると思う。

表1 満足度の評価

	大変満足	満足	普通	不満	大変不満
2010年度	69.7%	22.9%	5.7%	0.6%	1.1%
2011年度	68.4%	24.5%	6.1%	0%	1.0%

表2 参加により自然や科学・技術に興味が高まったか

更に興味をもった	少し興味をもった	どちらともいえない	少し興味が薄れた	興味がなくなった
42%	52%	4%	0%	0%

(注：無回答2%)

表3 参加者の理科・算数の好き嫌いの傾向(2011年度)

	とても好き	好き	普通	嫌い	とても嫌い
理科	28.7%	38.0%	27.1%	5.4%	0.8%
算数	20.8%	33.8%	26.9%	14.6%	3.8%

#### 6. まとめ

本稿ではサニーエンジェルスの活動内容を報告し、アンケート結果を元に活動の意義について考察した。今後の目標は、さいえんすママカフェをさらに広い地域で展開すると同時に、活動継続できる基盤を確立することである。

私達の活動が、母親達のストレス発散や情報交換の場となり健全化の一助となれば幸甚である。そして、「空を見上げるお母さんを増やしたい」この理念に賛同するサニーエンジェルス会員の純粋な活動が、結果的に日本の科学離れの防止につながるのであれば、この上なく光栄である。サニーエンジェルスの活動によって本会会員の持つ多彩な才能が開花し、それが本会のさらなる発展に繋がるよう今後も尽力していきたい。

#### 参考文献

- [1] 少子化社会対策大綱(平成16年)
- [2] [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/gakuryoku-chousa/sonota/071205/001.pdf](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/sonota/071205/001.pdf)
- [3] 科学技術白書(平成18年度版)
- [4] 科学技術白書(平成23年度版)